

日本国際政治学会 2002 年度研究大会のご案内

日本国際政治学会 2002 年度研究大会を下記の通り開催いたします。なにとぞ万障おくりあわせの上、ご出席いただきますようご案内申し上げます。なお、以下のプログラムの報告題目などは暫定的なもので最終的なプログラムは大会当日に配布いたしますので、ご了承をお願い申し上げます。

2002 年（平成 14 年）9 月 1 日
財団法人 日本国際政治学会
理事長 猪口 孝

日 時：2002 年 11 月 15 日（金）～11 月 17 日（日）

会 場：淡路夢舞台国際会議場

〒656-2301 兵庫県津名郡東浦町夢舞台 1 番地 電話：0799-74-1020

11 月 15 日（金）

受付開始 12:30

15 日(金)午後の部会 13:00 - 15:30

部会 1. ジェンダー秩序の再編

司会 ロニー・アレキサンダー（神戸大学）

報告 竹中千春（明治学院大学）「武力紛争のなかの女性 - 犠牲者・共犯者・変革主体」

中西久枝（名古屋大学）「イスラム・ジェンダー・ヴェール イランの事例を中心に」

岡 真理（京都大学）「<女性>が泣いている」

討論 遠藤誠治（成蹊大学）

伊藤るり（お茶の水女子大学）

部会 2. 英語諸国同盟のアジア太平洋戦略 1949～1970

司会 田中孝彦（一橋大学）

報告 鈴木陽一（上智大学）「帝国戦略のなかのマラヤ脱植民地化」

柴山 太（愛知学院大学）「英米から見た日本再軍備と ANZUS」

永野隆行（獨協大学）「スエズ以東の撤退と同盟国協力体制の模索」

討論 木畑洋一（東京大学）

部会 3. NATO = ロシアの新関係 第 1 次東方拡大以降

司会 伊東孝之（早稲田大学）

報告 松井弘明（大東文化大学）「ロシアから見た NATO = ロシアの新関係」

岩間陽子（政策研究大学院）「ヨーロッパから見た NATO = ロシアの新関係」

阿南東也（愛知県立大学）「アメリカから見た NATO = ロシアの新関係」

討論 佐瀬昌盛（拓殖大学）

部会4．自由論題

司会 田所昌幸（慶応義塾大学）

報告 半澤朝彦（オクスフォード大学院） 「政策決定の拘束要因としての国連 1956年スエズ危機における『国連の見えざる』役割」

永田尚見（元神戸大学助手） 「国際検疫制度の成立 専門家・国家・国際機構」

三浦 聡（東洋大学） 「ヘテラーキカル・ソサエティ 世界政治におけるネットワークと多重秩序」

討論 鹿島正裕（金沢大学）

鈴木基史（京都大学）

分科会セッションA 15:45 - 17:15 別掲

分科会セッションB 17:30 - 19:30 別掲

11月16日（土）

受付開始 9:00

16日（土）午前の部会 9:30 - 12:00

部会5．テロと安全保障

司会 油井大三郎（東京大学）

報告 加藤 朗（桜美林大学） 「テロとアメリカの安全保障政策」

片山善雄（防衛研究所） 「テロと安全保障 理論的考察」

池田明史（東洋英和女学院） 「テロと中東の安全保障」

討論 梅本哲也（静岡県立大学）

宮坂直史（防衛大学校）

部会6．冷戦と同盟

司会 土山實男（青山学院大学）

報告 毛里和子（早稲田大学） 「中ソ同盟体制考」

菅 英輝（九州大学） 「ベトナム戦争と日米同盟」

討論 横手慎二（慶応義塾大学）

井上寿一（学習院大学）

部会7．EU Enlargement and East Asia（英語、通訳なし）

Chair: Toshiro Tanaka (Keio University)

Papers:

Etienne Reuter (Minister-Counsellor of EU Delegation in Japan), "The EU Policy toward Asia"

Kumiko Haba (Hosei University), "The EU Enlargement toward East Central Europe and

the Role of ASEM"

Joel Campbell (Kansai Gaigo University), "Japanese Policy toward the EU and the US"

Discussants:

Ken Masujima (Kobe University)

Yuji Suzuki (Hosei University)

部会 8 . 日韓国際政治学会合同シンポジウム(1)

北東アジアの地域協力と日韓関係 (日韓同時通訳予定) (9 : 30 - 12 : 00)

司会 下斗米伸夫 (法政大学)

報告 高原明生 (立教大学) 「北東アジアの地域協力と日本外交」

南宮坤 (慶熙大学) 「北東アジア三国の東アジア共同体参加意義と韓日の役割」

討論 張寅成 (ソウル大学)

小此木政夫 (慶應義塾大学)

* 日韓国際政治学会合同シンポジウム(2)は、分科会セッション C 時間帯(13 : 30 - 15 : 10)に開催されます。プログラムは、別掲の分科会プログラムに記載されております。

分科会セッション C 13 : 30 - 15 : 10 別掲

総会 15 : 10-16 : 00

共通論題 (パネル・ディスカッション) 16 : 00 - 18 : 30

テーマ 国際秩序と反グローバリゼーション

コーディネーター 猪口孝 (東京大学)

パネリスト

五十嵐武士 (東京大学)

「国際秩序とアメリカのユニラテラリズム」

米本昌平 (三菱化学生命科学研究所)

「軍事技術・科学技術と反グローバリゼーション」

広瀬崇子 (大東文化大学)

「貧困・開発と反グローバリゼーション」

懇親会 18 : 45 - 20 : 30 ウェスティンホテル宴会場「ステラ」

11月17日(日)

受付開始 9:00

分科会セッションD 9:30 - 11:00 別掲

分科会セッションE 11:15 - 12:45 別掲

17日(日)午後の部会 14:00 - 16:30

部会 10 . 紛争後の国家建設と国際社会

司会 渡邊昭夫(平和安全保障研究所)

報告 橋本敬市(国際協力事業団)「ボスニア・ヘルツェゴビナにおける和平プロセスと国際機関」

小久保康之(静岡県立大学)「EUの平和構築アプローチ ボスニア再建支援策を中心に」

横田洋三(中央大学)「国連と紛争後の政権樹立」

討論 柴 宜弘(東京大学)

部会 11 . 現代日本の安全保障政策 吉田ドクトリンをめぐって

司会 北岡伸一(東京大学)

報告 川崎 剛(サイモンフレーザー大学)「吉田ドクトリン その概念解剖図」

中西 寛(京都大学)「“吉田ドクトリン”論の形成と変容 その歴史的展開」

討論 原 彬久(東京国際大学)

神谷万丈(防衛大学校)

部会 12. The Political Economy of The Environment and Development: From Rio to Johannesburg (英語、通訳なし)

Chair: Hiroshi Ohta (Aoyama Gakuin University)

Papers:

Miranda Schreurs (University of Maryland), “International Environmental Politics and Policies of Japan,

Germany and the United States”

Brendan Barret (UN University/Institute of Advanced Studies), “Ecomodernization and Local Agenda 21”

Katsuhiko Mori (Yokohama City University), “Global Water Governance: From Johannesburg to Kyoto,

Shiga, and Osaka”

Discussant : Hong-Pyo Lee(Nagoya University)

部会 13 中国と日本外交（日本外交史部会）

司会 池井優(青山学院大学)

報告 袁克勤(北海道教育大学)「アメリカと日華講和」

陳肇斌(東京大学)「1950年代の日本の対中政策」

川島 真(北海道大学)「対日賠償請求問題と中華民国」

討論 小池聖一(広島大学)

日本国際政治学会 2002 年度研究大会分科会プログラム

11月15日(金)

分科会セッションA (15:45~17:15) / 分科会セッションB (17:30~19:30)

A - 1/B - 1 (連続) アメリカ政治外交 (責任者: 高松基之)

報告 「大西洋憲章とアメリカ戦時外交」 獨協大学(非常勤) 八丁 由比
報告 「ボナー・フェラーズ准将と日米戦争終結を巡る歴史論争」
名古屋大学 井口 治夫
報告 「ジョン・フォスター・ダレスと 1958 年核実験禁止条約交渉」
一橋大学大学院 倉科 一希
報告 「ケネディ政権の対中国政策決定の諸相」 日本大学 許 奕雷
司会者 東洋英和女学院大学 高松 基之

A - 2/B - 2 (連続) ロシア・東欧 (責任者: 岩田賢司)

[] (A - 2) 《ロシアの外交》

報告 「プーチンの外交政策転換の意図、安定度、意義」 防衛大学校 小泉 直美
討論者 鈴鹿国際大学 中野 潤三
司会者 広島大学 岩田 賢司

[] (B - 2) 《ウクライナの内政》

報告 「ウクライナ議会における多数派構築の類型 - 議会速記録を
中心とする実証研究」 筑波大学大学院 南野 大介
討論者 平成国際大学 未澤 恵美
司会者 広島大学 岩田 賢司

A - 3/B - 3 (連続) 国際政治経済 (責任者: 山田高敬)

[] (A - 3)

報告 「途上国の債務救済と国際社会 - 重債務貧困国への G7 の対応」
上智大学(非常勤) 宇田川光弘
報告 「アジア諸国の国際金融政策の形成過程 - タイの事例を中心として」
関西学院大学大学院 田中 紀子
討論者 専修大学 稲田 十一
討論者 拓殖大学 吉野 文雄
司会者 上智大学 山田 高敬

[] (B - 3)

報告 「今なぜ FTA なのか (オーストラリアの事例) - 多国間自由化を
阻害しない FTA の考察の第一歩として」 アジア経済研究所 岡本 次郎
報告 「GATT/WTO 履行問題の 2 レベルゲーム分析」
関西学院大学大学院 籠谷 公司

報告 「自由貿易体制下の選択的逸脱 - 保護貿易措置の発動を巡る
日本の政治過程」 日本学術振興会特別研究員 直井 恵
討論者 金沢大学 大矢根 聡
司会者 上智大学 山田 高敬

A - 4 東アジア (責任者: 添谷芳秀)

報告 「日韓関係の実証分析 - 韓国における独島/竹島問題と対日感情
を中心に」 東京大学大学院 玄 大松
報告 「朝鮮民主主義人民共和国のベトナム派兵」 神戸大学大学院 宮本 悟
討論者 筑波大学 松岡 完
司会者・討論者 立教大学 李 鍾元

A - 5 アフリカ (責任者: 小田英郎)

報告 「コンゴ危機(1960-61年)研究の現在」 名古屋大学大学院 三須 拓也
討論者 龍谷大学 落合 雄彦
司会者 龍谷大学 川端 正久

A - 6 理論と方法 (責任者: 石田淳)

報告 「国内紛争と国際介入 - ゲームの均衡解としての抑圧・内戦・解放」
神戸大学 石黒 馨
報告 「国内紛争と国際関与 - コミットメント・プロブレムと国際褒賞」
東京大学大学院 河村 弘祐
司会者 東京大学 石田 淳

A - 7 安全保障 (責任者: 土山寛男)

報告 「A・ウォルファーズの安全保障理論 - その今日的意義と課題」
国土舘大学(非常勤) 奥迫 元
討論者 筑波大学 赤根谷達雄
司会者 武蔵工業大学 志鳥 学修

A - 8 トランスナショナル (責任者: 加藤普章)

報告 「書評『国際消費者運動』(境井孝行著)」 広島修道大学 三上 貴教
司会者・討論者 大東文化大学 加藤 普章

B - 4 日本外交史 (責任者: 波多野澄雄)

報告 「核実験問題と日米関係 - 『教育』過程の生成と崩壊を中心に」
筑波大学大学院 樋口 敏広
報告 「佐藤政権の核政策とアメリカの『核の傘』 - 『アメリカの
抑止力への依存』政策の公式化・定着とその背景」
明治学院大学 黒崎 輝

報告 「日本の『経済大国化』とアメリカ - 安保理常任理事国入りをめぐる
日米関係、1967年～73年を中心に」

報告者 日本学術振興会特別研究員 潘 亮
討論者 明治学院大学 石井 修
司会者 筑波大学 波多野澄雄

B - 5 平和研究（責任者：多賀秀敏）

《市民社会『化』と平和》

報告 「現代世界における『市民社会論』 - 80年代～90年代を中心に」

広島市立大学大学院 奥迫 久士

報告 「グローバル化するサイバー市民社会をどう見るか - インターネット
などに見る『反コストリカ言説』を手がかりにして」

駿河台大学（非常勤） 竹村 卓

報告 「アジア諸国における民主化と国内紛争」 早稲田大学 五十嵐誠一
討論者 新潟国際情報大学 佐々木 寛
討論者 駿河台大学 今村 庸一
司会者 早稲田大学 多賀 秀敏

11月16日（土） 分科会セッションC（13:30～15:10）

部会9 . 日韓国際政治学会合同シンポジウム（2）

朝鮮半島の和平プロセスと日韓関係 （日韓同時通訳予定）

司会 禹澈九（嶺南大学）

報告 平岩俊司（静岡県立大学）「日朝交渉をめぐる国内政治と国際関係」

報告 柳浩烈（高麗大学） 「21世紀北朝鮮の対内外政策の変化と韓半島の平和」

討論 波佐場清（朝日新聞）

討論 朴在晶（忠南大学）

C - 1 日本外交史 （責任者：波多野澄雄）

《朝鮮半島と日露戦争》

報告 「日露戦争と朝鮮の民族運動」 啓明大学校 李 盛換
報告 「大三輪長兵衛と日韓間非公式外交ルート」 國學院大学大学院 菅野 直樹
討論者 日本大学 松村 正義
司会者 名城大学 稲葉 千晴

C - 2 東アジア国際政治史 （責任者：滝口太郎）

報告 「『クリスマス・メッセージ』（12月覚書）を巡って - オースティン・
チェンバレンによる東アジアへの関与」 名古屋大学大学院 古瀬 啓之

報告 「『防共』問題を巡る日中間の相剋 - 1935年～1936年」
島根県立大学 鹿 錫俊

司会者 千葉大学 後藤 春美

C - 3 欧州国際政治史・欧州研究（責任者：植田隆子）

《1960年代のヨーロッパ》

報告 「1960年代の冷戦構造とドイツ政治文化」 東京大学 井関 正久

報告 「1960年代のスウェーデンの中立政策と欧州共同体加盟問題」
藤女子大学 五月女律子

討論者 早稲田大学 伊東 孝之

討論者 高崎経済大学 吉武 信彦

司会者 国際基督教大学 植田 隆子

C - 4 アメリカ政治外交（責任者：高松基之）

報告 「カナダ連邦政府の文化政策と国民文化形成 - 国立博物館における
カナダ文化の表象」 図書館情報大学 溝上智恵子

司会者・討論者 カリタス女子短期大学 竹中 豊

C - 5 中東（責任者：酒井啓子）

報告 「ホメイニーのイスラム思想と自由主義の位置関係 - 自由の概念を
軸にして」 大分県立芸術文化短期大学 富田 健次

報告 「イスラーム政府三論 - エジプトのイスラーム憲法論における
統治体制構想」 アジア経済研究所 池内 恵

司会者 アジア経済研究所 酒井 啓子

C - 6 ラテンアメリカ（責任者：乗浩子）

報告 「アルゼンチンの国有化とナショナリズム - ペロン政権の英資鉄道
接収を中心に」 神戸大学大学院 睦月 規子

討論者 和歌山大学 内田みどり

司会者 帝京大学 乗 浩子

C - 7 理論と方法（責任者：石田淳）

報告 「対外政策研究と理論研究の接点 - 安全保障の場合：
"The Rise of China"と同盟理論」 上智大学 樋渡 由美

報告 「対外政策研究と理論研究の接点 - 国際政治経済：
中国の経済成長と国際制度論」 東京大学 古城 佳子

司会者 東京大学 石田 淳

C - 8 安全保障（責任者：土山實男）

報告 「核兵器の信頼性・安全性・質的向上 - 核爆発実験
禁止との関連で」 大阪外国語大学 竹内 俊隆

討論者 一橋大学 納家 政嗣

司会者 静岡県立大学 梅本 哲也

C - 9 政策決定（責任者：長尾悟）

報告 「内閣機能の強化 - テロ対策特措法、有事法制法案を事例として」
国際大学 信田 智人
報告 「国民合意プロセスへの転換 - WTO農業交渉日本提案を
事例として」 中京大学 古川 浩司
討論者 東洋学園大学 長尾 悟
司会者 城西国際大学 飯倉 章

C - 10 トランスナショナル（責任者：加藤普章）

報告 「国際的な人の移動に関する政治的要因 - 1980年代以降中国人の
日本への移動を事例として」 関西学院大学大学院 曙 光
報告 「中国の留学生送り出し政策の沿革と留学ブームの推移
- 1990年代を中心にして」 一橋大学大学院 王 津
司会者・討論者 京都女子大学 初瀬 龍平

C - 11 国連研究（責任者：内田孟男）

報告 「国連の民主化支援活動とその暫定的評価
- 『民主化への課題』のその後」 大阪国際大学（非常勤） 杉浦 功一
司会者・討論者 大阪大学 星野 俊也

11月17日（日）

分科会セクションD（9:30～11:00） / 分科会セクションE（11:15～12:45）

D - 1/E - 1（連続） 東アジア国際政治史（責任者：滝口太郎）

報告 「朝鮮分断の起源とその固定化過程 - 38度線画定をめぐっての
諸論争を中心に」 日本大学大学院 鄭 勳燮
報告 「朴憲永の朝鮮戦争 - 開戦決定過程に関する再考察」 佐賀大学 森 善宣
報告 「中国残留日本人に関する包括的研究 - 移住、漂流、定着の
国際関係論」 神戸大学大学院 呉 万虹
司会者 東京女子大学 滝口 太郎

D - 2/E - 2（連続） アメリカ政治外交（責任者：高松基之）

報告 「アメリカの平和維持政策 - 保守とリベラルの安全保障観を中心に」
青山学院大学（非常勤） 青井千由紀
報告 「アメリカ外交と革命 - 20世紀のラテンアメリカを中心に」
広島市立大学 上村 直樹
報告 「米国政治と宗教 - 書評『宗教に揺れるアメリカ』（蓮見博昭著）」
専修大学 藤本 一美

討論者 恵泉女学園大学 蓮見 博昭
司会者 東洋英和女学院大学 高松 基之

D - 3/E - 3 (連続) ロシア・東欧 (責任者: 岩田賢司)

《国際社会の民主化支援》

報告 「デイトン合意後のボスニアにおける選挙と民族問題」
早稲田大学大学院 久保 慶一
討論者 神戸大学 月村 太郎
司会者 広島大学 岩田 賢司
報告 「CIS 諸国と民主化支援レジームとしての OSCE - その政治的限界
と可能性」
松山大学 宮脇 昇
討論者 ロシア東欧貿易会 服部 倫卓
司会者 広島大学 岩田 賢司

D - 4/E - 4 (連続) 東南アジア (責任者: 田村慶子)

[] (D - 4)

報告 「発展途上国の経済に与える政治的影響 - ビルマ(ミャンマー)、
タイ、インドネシアを比較して」
東海大学 イエジョアウン
報告 「カンボジア和平プロセスにおけるオーストラリア外交」
日本学術振興会特別研究員 松井 佳子
討論者 北九州市立大学 伊野 憲治
討論者 山梨学院大学 小笠原高雪
司会者 北九州市立大学 田村 慶子

[] (E - 4)

《NGO はジェンダーの主流化の進展にどのような役割を果たしているか
- 東南アジアを中心に》

報告 「ジェンダーの主流化における国際機構の取り組み - 東南アジア
の国際機構・制度を中心に」
北九州市立大学 望月 康恵
報告 「アジアの地域的女性 NGO がジェンダーの主流化に果たす役割」
アジア女性交流・研究フォーラム 織田由紀子
報告 「マレーシアの NGO とジェンダーの主流化」
北九州市立大学 田村 慶子
報告 「フィリピン・パラワン社会における NGO 活動とジェンダー」
九州国際大学 森谷裕美子
報告 「インドネシアの女性政策と女性組織の関わり」
九州国際大学 大形 里美
司会者 北九州市立大学 田村 慶子

D - 5/E - 5 (連続) 中東 (責任者: 酒井啓子)

パネルディスカッション《「イスラーム過激派」、「ならず者国家」と米国の対中東認識》

討論者 静岡県立大学 宮田 律
討論者 日本大学 松永 泰行
討論者 日本国際問題研究所 松本 弘
討論者 アジア経済研究所 酒井 啓子
司会者 (未定)

D - 6 / E - 6 (連続) 国際交流 (責任者: 阿部汎克) (開始時間 10:00)

《日韓交流 - 市民社会と大衆文化の視点から》

報告 「大衆文化要素を介した国際文化交流政策の拡大傾向とその分析
- 日本と韓国の事例を中心に」 富山大学 林 夏生
討論者 ソウル大学校社会科学大学 張 寅性
報告 「非国家主体による『トランスナショナル集合行為』の形成と影響
- 北朝鮮問題をめぐる日韓の人道支援協力を中心事例に」
東京大学大学院 金 敬黙
討論者 恵泉女学園大学 上村 英明
司会者 青葉学園短期大学 阿部 汎克

D - 7 / E - 7 (連続) トランスナショナル (責任者: 加藤普章)

報告 「リベラル・マルチカルチャリズムにおけるシチズンシップ
- イギリスの公教育における事例から」
元エセックス大学大学院 杉木 明子
報告 「多元化するカナダ市民 - 市民権取得と公用語習得形態にみる
移民統合の多様化、2都市比較の視点から」 慶応大学 大岡 栄美
報告 「市民権概念の歴史的形成と変容 - オランダの事例から」
神戸大学 吉田 信
討論者 図書館情報大学 溝上智恵子
司会者 大東文化大学 加藤 普章

D - 8 日本外交史 (責任者: 波多野澄雄)

報告 「船鉄交換をめぐると日米関係(1917~18)」 トロント大学(客員) 木村 昌人
報告 「加藤高明像の再構築 - 政党政治家とビジネスマンとの視点から」
一橋大学大学院 王 平
討論者 麗澤大学 桜井 良樹
司会者 筑波大学 波多野澄雄

D - 9 東アジア (責任者: 添谷芳秀)

報告 「中国のWTO加盟と世界情勢認識」 中央大学(客員) 金 香海
報告 「中国の党・政府・社会 - 『社区』建設をめぐると議論から」
筑波大学 小嶋華津子

司会者・討論者

早稲田大学 天児 慧

E - 8 安全保障（責任者：土山實男）

報告 「吉田ドクトリン論と永井政治学」

静岡大学 中本 義彦

討論者

東京大学 酒井 哲哉

司会者

青山学院大学 土山 實男

E - 9 国際統合（責任者：福田耕治）

報告 「東南アジアの地域統合 - ベトナムの ASEAN 加盟の事例から」

東京外国語大学大学院 レ・クイン・フォン

報告 「EU の正統性問題 - 国際行政学的観点からの考察」

早稲田大学大学院 原田 徹

討論者

山梨学院大学 小笠原高雪

司会者

早稲田大学 福田 耕治

1. 大会参加費のお願い

99 年度より研究大会のコンベンション方式移行に伴い、会員の皆様から大会参加費をいただくことになっております。本年度は大会参加費を一般会員の皆様に 3000 円ご負担いただくこととなります。なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

2. 大会参加費の新しい支払い方式について

大会参加費は、宿泊、昼食弁当のお支払いとともに別紙の「参加申込書」を通じて、お支払いいただきます。

宿泊および昼食弁当の要不要、懇親会の出欠に関わらず、「参加申込書」は近畿日本ツーリスト(株)・イベント・コンベンション支店宛にお送り頂きたくお願い申し上げます。なお、お申し込みの期限(10月15日)は、厳守いただきますようお願い申し上げます。

参加費の事前支払をいただきました場合は、大会当日に「予約回答書」を必ずご持参ください。また、事情により当日に参加費のお支払いをなされる場合は、当日登録の窓口を用意しております。ご利用ください。

3. 年会費の徴収について

年会費は学会事務センターにお振り込みいただくことになっておりますが、大会会場でも、受付デスクにおいて徴収業務を行います。

4. 部会報告ペーパーの販売について

部会報告のペーパーを一部 200 円にて販売致します。用意されるペーパーは各 50 部と限定されておりますので、ご希望のペーパーが必ずしも入手可能とは限りません。ペーパーは、原則的には大会前後 1 週間、国際政治学会の学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jair>)から読めるようにする計画です。

5. 理事会・分科会責任者連絡会議・各種委員会案内

大会時に開催が予定されている理事会などの各種会合は、以下の通りです。

理事会(旧)	11月15日	17:30~18:00
理事会(新)	11月15日	18:00~
分科会責任者連絡会議	11月16日	12:00~13:30
編集委員会	11月15日	14:40~15:40
英文機関誌編集委員会	11月16日	13:30~14:30
企画・研究委員会	11月16日	13:30~14:30
対外交流委員会	11月16日	13:30~14:30
国際学术交流委員会	11月16日	13:30~14:30
書評委員会	11月16日	13:30~14:30

分科会責任者連絡会議には昼食弁当を用意致しますが、各種委員会には用意致しません。ご了承下さい。

6. 懇親会について

16日の懇親会は、大会会場に隣接のウェスティンホテル内大宴会場「ステラ」において開催する予定です。

7. 昼食について

会場内に喫茶コーナー、またウェスティンホテル内にはレストランなどがございますが、混雑が予想されます。昼食につきましては弁当のご注文をおすすめいたします。

8. 大会に関するお問い合わせ

大会実行委員長 吉川 元 (神戸大学)

電話 078-803-6732 FAX 078-803-6753 E-mail: kikkawa@rose.rokkodai.kobe-u.ac.jp